

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 包括的がん医療実現にむけた免疫細胞モジュールの創成
2. 研究代表者： 中島 雄太（熊本大学 大学院先端科学研究部 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、免疫細胞の異物に対する機能に着目し、マイクロデバイス・生体材料などの工学技術との融合により、早期がん診断とがん治療を達成する革新的技術の創出を目指す研究である。

フェーズ1では、マクロファージから産生されたサイトカインを用いてがんの検出と治療方法を考案し、培養細胞を用いた実験で有効性について一定の見通しを得ている。また、創出されたマイクロデバイスは、実験解析に応用可能であることから有用であり、評価できる。

フェーズ2では、マイクロデバイス創出を進めるにあたり、各種がん細胞に対するマクロファージの産生物を網羅的に解析する必要があるため、医学系や画像処理の専門家とのコラボレーションによる成果に期待する。

以上